

# V-Repair Ty

外壁調査自動作図システム  
(東京都版)

## 機能概要書



## 1. まえがき

本「V-RepairTy」については、Microsoft Visioを基本エンジン(ベース)として、開発を行いました。

本システムの大きな特徴は、従来のCADシステムと違い専任のオペレーターを必要とせず、現場担当の技術者の皆様を始めとして、どなたでも簡単に外壁調査図面及び補修成果図面の作成が可能となります。

また、図面作成が完了すると同時に、数量計算も行われますので、従来図面作成と数量計算にかかっていた時間を大幅に短縮できます。

尚、本システムでは、剥離(浮き)、ひびわれ、欠損等、各項目について、補修調査図面及び数量集計表の作成を行います。

## 2. 初期インターフェース

「V-RepairTy」の初期画面は、下記の通りです。

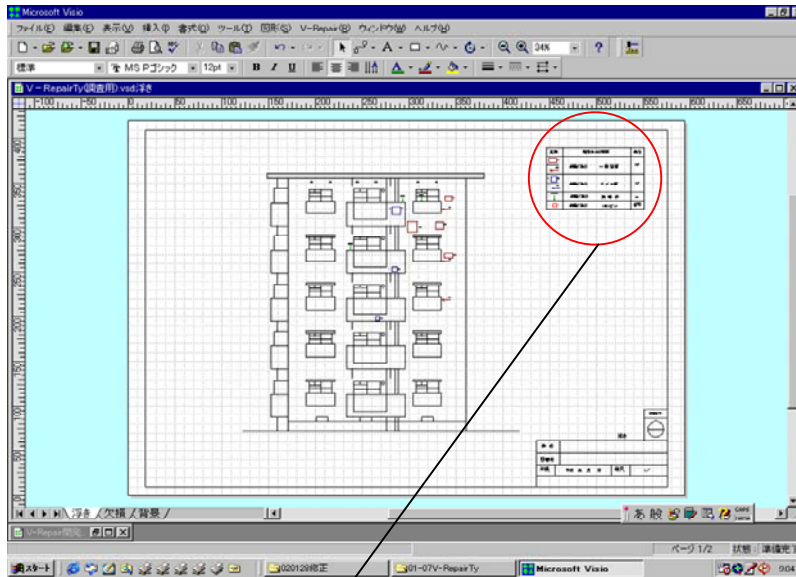


### 3. 本システムの特徴

本「V-RepairTy」については、図面数量算出に必要な事からページに縮尺を設定します。  
 ページサイズはA1サイズとし標準的な縮尺は1/100に設定しています。

### 4. 図面体裁

#### 1. 剥離(浮き)のページ



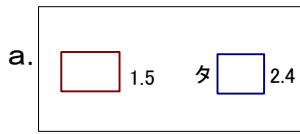
記号	種別および概要	単位
	剥離(浮き) 一般壁面	m <sup>2</sup>
	剥離(浮き) タイル面	m <sup>2</sup>
	剥離(浮き) 狭幅部	m
	剥離(浮き) 1穴1ピン	箇所

矢印は側面を示す

#### 剥離(浮き)のページの凡例

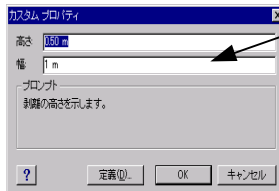
剥離(浮き)の調査項目については、以上の凡例を使用します。

### 1) シェイプの形状変更

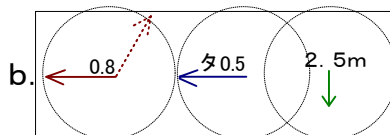


剥離(浮き)のシェイプについては、挿入時に数値入力ウィンドウへ寸法入力を行う事により、大きさが変化します。また、この数値が数量集計の根拠(m<sup>2</sup>)となります。

数値入力ウィンドウ



数値を入力します。  
タテ、ヨコの数字を入力します。

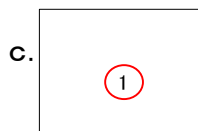


剥離(浮き)のシェイプについては、数値の入力のみを行います。

この数値が数量集計の根拠(m<sup>2</sup>及びm)となります。

形状については、

1. 矢印の収縮が可能、又、矢印が360°回転可能です。
2. 数値位置の移動が可能です。



このシェイプについては、シェイプの貼り付けのみとします。この数値が数量集計の根拠(箇所)となります。

### 3) 図面と数量表

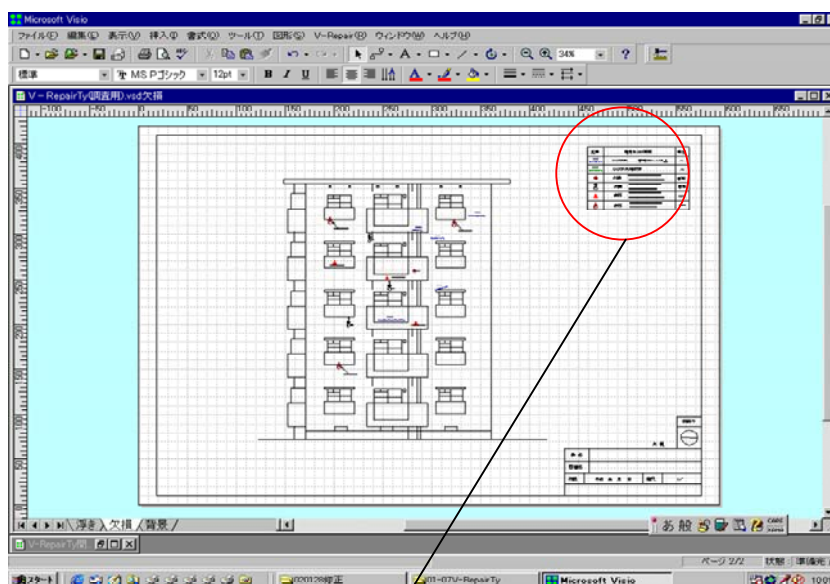
本「V-RepairTy」については、図面の中には「凡例」のみとして、図面の集計数量は外部の数量表に「エクスポート」(⇒Excel)します。

数量表の様式については、別途、添付します。

### 4) 図面枠

剥離(浮き)のページでは、以下の図枠を使用します。(別途)

## 2. 剥落・欠損のページ

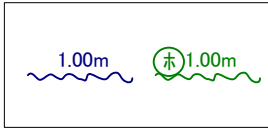


記号	種別および概要	単位
	ひびわれ 面幅30mm以上	m
	ひびわれ補修済	m
	欠損 100mm×100mm以内 高分子エマルションモルタル	箇所
	欠損 100mm×100mm以内 エポキシ樹脂モルタル	箇所
	剥落 100mm×100mm以内 高分子エマルションモルタル	mm
	剥落 100mm×100mm以内 エポキシ樹脂モルタル	mm

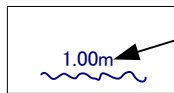
### 剥落・欠損のページの凡例

剥落・欠損の調査項目については、以上の凡例を使用します。

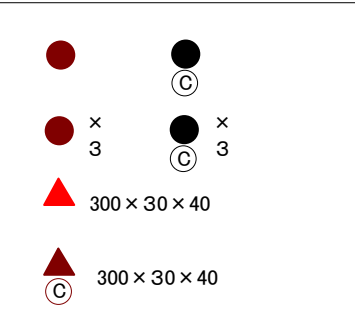
## 1) シェイプの形状変更

a.  剥落・欠損のシェイプについては、挿入時に直接数値入力を行います。  
この数値が数量集計の根拠(m)となります。

数値入力ウィンドウ



数値を入力します。  
(長さを入力します。)

b. 

剥落・欠損のシェイプについては、数値の入力のみを行います。形状については、変化はしません。  
この数値が数量集計の根拠(箇所・リットル)となります。

数値入力ウィンドウ

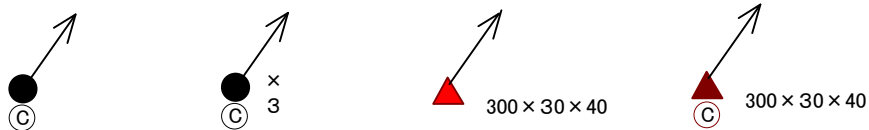


欠損数を入力します。



数値を入力します。  
長さ、幅、厚さの数字を入力します。

## 2) シェイプの引き出し線



各シェイプには、引き出し線を格納しシェイプの貼り付けを簡単に行えるようにしてあります。

### 3. 数量表等

#### 1) 図面と数量表

本「V-RepairTy」については、図面の中には「凡例」のみとして、図面の集計数量は外部の数量表に「エクスポート」(⇒Excel)します。

数量表の様式については、別途、添付します。

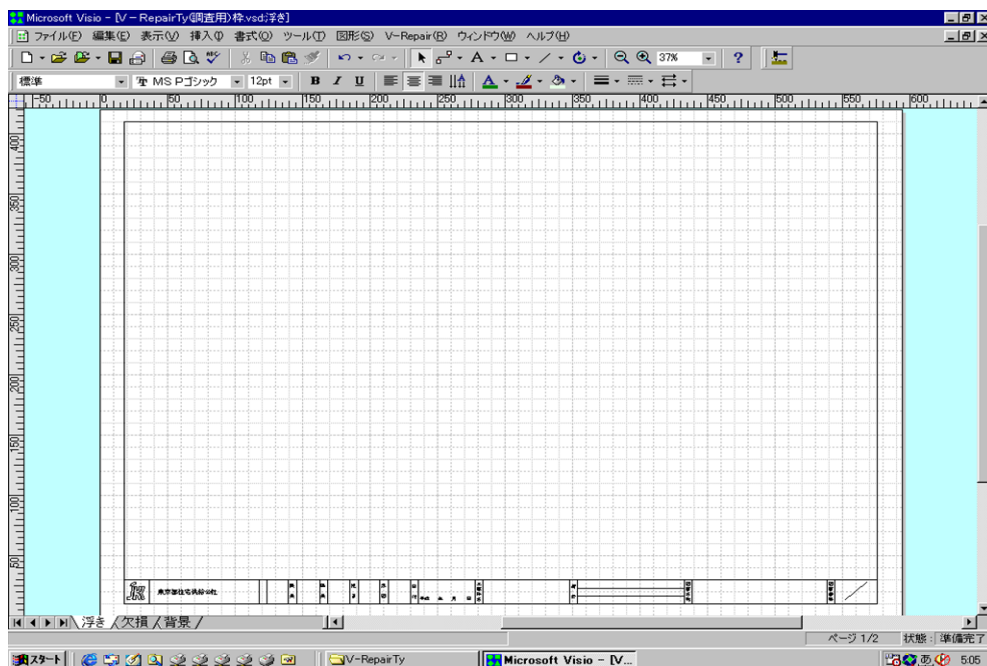
#### 2) 図面枠

剥離(浮き)のページでは、以下の図枠を使用します。(別途)

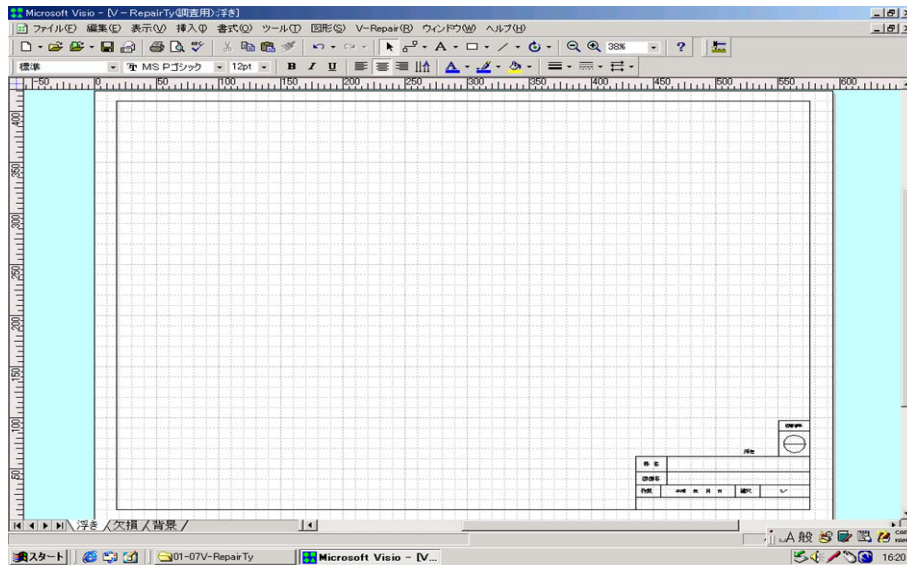
### 4. 付属(参考例)

図面の図枠は、以下のタイプとします。

#### 1) 図 面 枠 1



## 2) 図面枠 2



## 3) 数量表

図面の集計数量は外部の数量表に「エクスポート」(⇒Excel)します。  
 タイプとしては、以下のフォーマットとします。

◇件名◇ 多摩川住宅9号棟(積分) テスト				
外壁塗装・手摺改修・屋上防水及びその他 工事				
調査数量集計表				
種別	概要	単位	合計数量	備考
調査面積		㎡		
別階	コンクリート・モルタル面	㎡		
	一般部 金穴全ピン	㎡	79.21	
	コンクリート・モルタル面	㎡		
	狭幅部 金穴全ピン	m	199.2	
	コンクリート・モルタル面	㎡	6	
	タイル面・モルタル面	㎡		
	コンクリート・モルタル面	㎡		
	二次 金穴全ピン	箇所	211	
	コンクリート・モルタル面	㎡		
	一般部(天井) ピンなし	㎡	23.86	
コンクリート・モルタル面	㎡			
狭幅部(天井) 金穴全ピン	m	1.68		
コンクリート・モルタル面	㎡			
二次(天井) 金穴全ピン	箇所	0		
ひびわれ	コンクリート・モルタル面	㎡		
面積0.30mm以上	m	0		
ひびわれ	コンクリート・モルタル面	㎡		
補修済み	m	0		
欠損・剥落	高分子エマルジョンモルタル	箇所		
	100mm*100mm以内のもの	箇所	6	
	高分子エマルジョンモルタル	㎡		
	上記以外	㎡	2.16	
	軽量エポキシ樹脂モルタル	箇所		
100mm*100mm以内のもの	箇所	26		
軽量エポキシ樹脂モルタル	㎡			
上記以外	㎡	0		
補強ピン打	軽量エポキシ樹脂モルタル	本		
	厚50mm以上	本		

数量集計表		数量内訳表	
補強ピン打	軽量エポキシ樹脂モルタル 厚50mm以上	上記以外	軽量エポキシ樹脂モルタル 厚50mm以上

内訳									
概要	単位	東面	西面	南面	北面				
ト・モルタル面	㎡	0	0	55.13	24.08				
全穴全ピン	㎡	0	0	149.1	50.1				
ト・モルタル面	㎡	0	0	0	0				
モルタル面	m	0	0	0	0				
ト・モルタル面	㎡	0	0	165	46				
穴全ピン	箇所	0	0	23.86	0				
天井) ピンなし	箇所	0	0	23.86	0				
モルタル面 剥離 一般部 9号棟									
番号	面	概	面積(㎡)	穴数	部率	概	部率	面積(㎡)	穴数
1	東	東	0.13	0	0	東	0	0.13	0
2	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
3	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
4	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
5	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
6	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
7	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
8	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
9	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
10	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
11	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
12	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
13	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
14	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
15	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
16	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
17	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
18	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
19	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
20	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
21	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
22	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
23	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
24	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
25	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
26	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
27	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
28	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
29	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
30	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
31	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
32	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
33	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
34	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
35	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
36	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
37	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
38	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
39	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
40	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
41	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
42	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
43	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
44	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
45	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
46	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
47	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
48	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
49	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0
50	東	東	0.33	0	0	東	0	0.33	0





## 株式会社シーアンドシー技術情報

Head Office 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町7番15号  
南平台コート 31

TEL: 03-5456-1771 FAX: 03-5728-5046

URL <http://www.candc-infotec.co.jp/>

Satellite Office

東京(銀座・目白・田町・水道橋)、札幌、岡山、熊本